



lesson95 … 関係代名詞② 主格のwhich, that

(1) This is a movie which [that] makes me happy.

『これは私をしあわせにする(1本の映画です。』

This is a movie. It makes me happy. の2文が1文になったもの。
先行詞

(2) That is a letter which [that] was written fifty years ago.

『あれは50年前に書かれた(1通の手紙です。』

That is a letter. It was written fifty years ago.
先行詞 の2文が1文になったもの。

(3) The dog which [that] is sleeping by the door is Koro.

『(その)ドアのそばで寝ている(その)犬はコロです。』

※ 先行詞が主語(The dog)なので、関係代名詞に説明されて長い主語になっている。
2つ目の動詞の前までの主部をまず訳し、それから残りを訳す。

The dog is Koro. It is sleeping by the door. の2文が1文になったもの。
先行詞

☆ 主格の which [that] … 先行詞が〔もの〕または〔動物〕のときは
関係代名詞は which または that を使う。

(復習：先行詞が〔人〕の主格の文では who または that を使う)

→ 【lesson94 … 主格の who, that】

This is a cat. It runs very fast. の2文を1文にする。
先行詞

- ① まず、先行詞をさがす。(ここでは a cat)
- ② 次に、先行詞と同じ内容をあらわす代名詞をさがす。(ここでは It)
- ③ 最後に、文をつなぐ接続詞(and)と代名詞(It)を、関係代名詞 which または that に置き換えて1文にする。

This is a cat and it runs very fast.

This is a cat which [that] runs very fast.

「これはとても速く走るネコです。」

≪ 主格の関係代名詞 which [that] の使い方 ≫

先行詞 [もの・動物] which [that] 動詞 …

☆ 動詞は先行詞の人称、数に一致させる。

… (1)は先行詞が3人称・単数なので、3単現のsが必要。

※ 先行詞が〔人+もの〕,〔人+動物〕のときは that を使う。